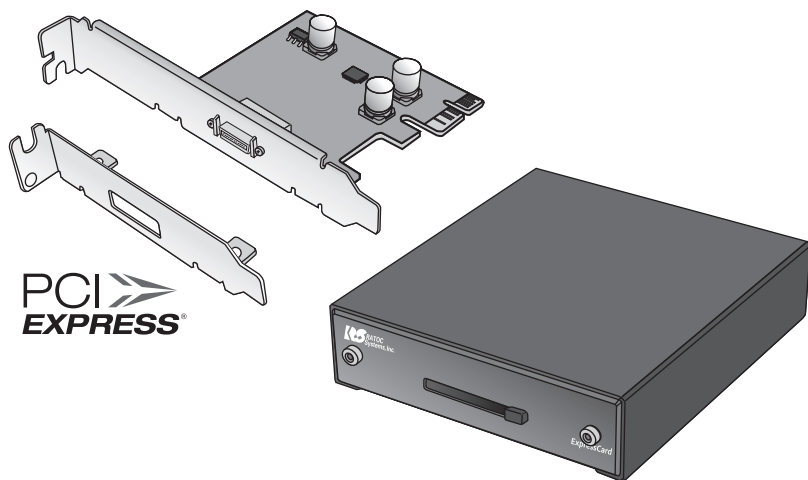


PCIe接続 ExpressCardアダプタ外付けタイプ

# REX-PE51EX

## ユーザーズマニュアル

2010年2月 第1.1版



本製品を正しく安全にお使いいただくため  
ご使用前に必ず本書をよくお読みください。

ラトックシステム株式会社

**RATOC Systems, Inc.**

#### 〈ご注意〉

1. 本書の著作権はラトックシステム株式会社にあります。
2. 本書の内容につきましては万全を期して作成しておりますが、万一不審な点や誤りなどお気づきになりましたらご連絡お願い申し上げます。
3. 本書の運用により生じた結果の影響については、いかなる責任も負いかねますので、予めご了承ください。
4. 本書の一部または全部を無断で使用・複製することはできません。
5. 本書の内容は、将来予告なく変更する場合があります。

- ExpressCardは、PCMCIAの登録商標です。
- PCI-SIG、PCI Express、PCI Expressロゴは、PCI-SIGの登録商標です。PCIeは、PCI-SIGの商標です。
- “REX”は株式会社リコーが商標権を所有しておりますが、弊社はその使用許諾契約により本商標の使用が認められています。
- SxS、SxS PROは、ソニー株式会社の商標です。
- Apple、Mac、Mac OSは、Apple Inc.の米国およびその他の国における登録商標です。
- Windowsは米国マイクロソフト社の米国およびその他の国における登録商標です。
- その他本書に記載されている商品名/社名などは、各社の商標または登録商標です。なお本書では、™、®マークは明記しておりません。

● 安全にご使用いただくために	2
<b>1</b> はじめに	3
-1. 内容物の確認	3
-2. 動作環境	4
-3. 対応PCカード	4
-4. 使用上の注意	4
-5. 各部名称	5
<b>2</b> セットアップ	6
-1. 本製品が使えるようになるまでの手順	6
-2. Low Profile PCIeで使用する場合	6
-3. ハードウェアの装着	7
-4. ドライバ・ユーティリティのセットアップ	9
<b>3</b> ExpressCardの使用(必ずお読みください)	14
-1. ExpressCard製品のドライバインストール	14
-2. ExpressCardの取り外し時の注意	15
<b>4</b> よくある質問	17
<b>5</b> お問い合わせ・ユーザ登録	19
-1. 本製品に関するお問い合わせ	19
-2. 修理について	20
<b>6</b> 一般仕様	21
● REX-PE51EX 質問用紙	

## 安全にご使用いただくために

本製品は安全に充分配慮して設計を行っていますが、誤った使い方をすると火災や感電などの事故につながり大変危険です。ご使用の際は、警告/注意事項を必ず守ってください。

### 表示について

この取扱説明書は、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。



**警告** この表示を無視して誤った取扱いをすると、火災や感電などにより、人が死亡または重傷を負う可能性がある内容を示しています。



**注意** この表示を無視して誤った取扱いをすると、感電やその他の事故により、人が負傷または物的損害が発生する可能性がある内容を示しています。



- 製品の分解や改造等は、絶対におこなわないでください。
- 無理に曲げる、落とす、傷つける、上に重い物を載せることはおこなわないでください。
- 製品が水・薬品・油等の液体によって濡れた場合、ショートによる火災や感電の恐れがあるため、使用しないでください。



- 本製品は電子機器ですので、静電気を与えないでください。
- ラジオやテレビ、オーディオ機器の近く、モーターなどのノイズが発生する機器の近くでは誤動作することがあります。必ず離してご使用ください。
- 高温多湿の場所、温度差の激しい場所、チリやほこりの多い場所、振動や衝撃の加わる場所、スピーカ等の磁気を帯びた物の近くで保管、使用しないでください。
- 煙が出たり異臭がする場合は、直ちにパソコンや周辺機器の電源を切り、電源ケーブルもコンセントから抜いてください。
- 本製品は、医療機器、原子力機器、航空宇宙機器、輸送機器など人命に関わる設備や機器、及び高度な信頼性を必要とする設備や機器での使用は意図されておりません。これらの設備、機器制御システムに本製品を使用し、本製品の故障により人身事故/火災事故/その他の障害が発生した場合、いかなる責任も負いかねます。
- 万一の事態に備えて、本製品をご使用になる前にパソコンのハードディスクや本製品に使用するハードディスク内に保存されているデータやプログラムのバックアップをおこなうことを推奨します。ハードディスクが破損したことによる損失、逸失利益等が発生した場合でも、いかなる責任も負いかねます。
- 取り付け時、鋭い部分で手を切らないよう、充分注意して作業をおこなってください。
- 配線を誤ったことによる損失、逸失利益等が発生した場合でも、いかなる責任も負いかねます。

この度は本製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。末永くご愛用賜りますようお願い申し上げます。

本書は本製品の導入ならびに運用方法を説明したマニュアルです。正しく安全にお使いいただくため、ご使用前に必ず本書をよくお読みください。

#### <本製品の特徴>

本製品はデスクトップPCでExpressCardを使用するためのアダプタです。

PCI Expressの信号ラインにリピータを搭載し十分な信号品質を確保しています。

通常、ExpressCardはOS起動前に接続する必要があり、OS起動後のExpressCardの再挿入には対応していませんが、本製品添付のドライバソフトウェアを使用することでOS起動後もExpressCardの交換が可能となります。

SxS Pro Mediaの下記サイトで周辺機器として認定されています。

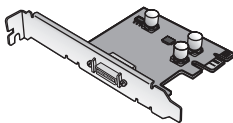
<https://www.oss-formats.org/sxs/outline/index.html>

## 1-1. 内容物の確認

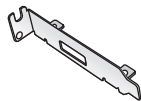
パッケージの中に下記の物がすべて揃っているかご確認ください。  
万一不足がありましたら、お手数ですが弊社サポートセンターまたは販売店までご連絡ください。



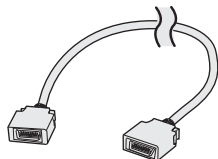
● 外付け用ExpressCard  
アダプタ



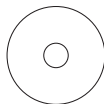
● PCIeボード



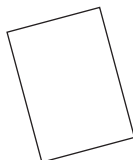
● Low Profile用  
ブラケット



● PCIe信号ケーブル  
(約100cm)



● CD-ROM  
(ドライバ/ユーティリティ  
マニュアルpdf)



● インストールガイド



● 保証書

## **1** -2. 動作環境

- ◆ 対応OS : Windows 7/Vista/XP  
Mac OS X 10.4.x以降
- ◆ 対応機種 : PCIeスロットを装備したWindows PCまたはMac Pro

## **1** -3. 対応ExpressCard

各種ExpressCard対応 (ExpressCard /34)

※ご使用になるExpressCardの対応OSについては、各ExpressCardメーカーにご確認ください。

- ◆通信カード 無線LANカード/データ通信カード/モバイル通信カード/LANカード
- ◆メモリカード SxS PRO/フラッシュメモリ/各種リーダ・ライター・アダプタ
- ◆インターフェイス RS232Cカード/eSATAカード(※ **REX-EX30Sは未対応となります。**)

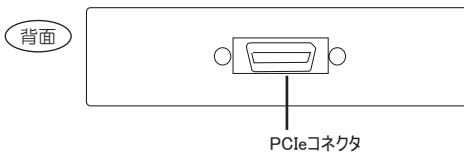
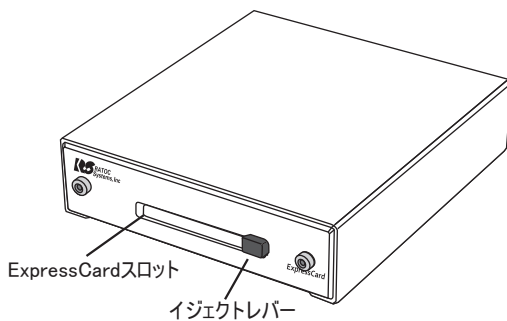
その他最新の動作確認情報は弊社のWeb(<http://www.ratocsystems.com/>)で確認することができます。

## **1** -4. 使用上の注意

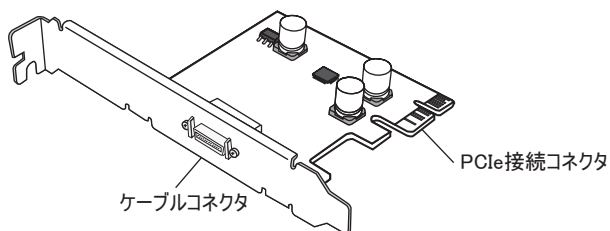
- 対応OSはご使用になるExpressCardの動作環境に準じます。
- PCIe信号ケーブルは本製品専用のため、本製品以外では使用できません。
- ExpressCardの接続インターフェイスはPCIeベースとUSB2.0ベースの2種類あります。本製品はどちらの接続インターフェイスにも対応しています。
- 本製品の運用を理由とする損失、逸失利益等の請求につきましては、いかなる責任も負いかねますので、予めご了承ください。
- 製品改良のため、将来予告なく外観または仕様の一部を変更する場合があります。
- 本製品は日本国内仕様となっており、海外での保守及びサポートは行っておりません。
- 本製品を廃棄するときは地方自治体の条例に従ってください。条例の内容については各地方自治体にお問い合わせください。
- 本製品の保証や修理に関しましては、添付の保証書に内容を明記しております。必ず内容をご確認の上、大切に保管してください。

## 1-5. 各部名称

### ●ベイ取付用ExpressCardアダプタ



### ●専用PCIeボード



# 2

## セットアップ

### 2-1. 本製品が使えるようになるまでの手順

Low Profile PCIeで使用する場合

⇒6ページ

※Low Profile PCIeスロット搭載パソコンで使用する場合は、添付のブラケットに取り替えます。

ハードウェアの装着

⇒7ページ

ドライバ・ユーティリティのセットアップ

⇒9ページ

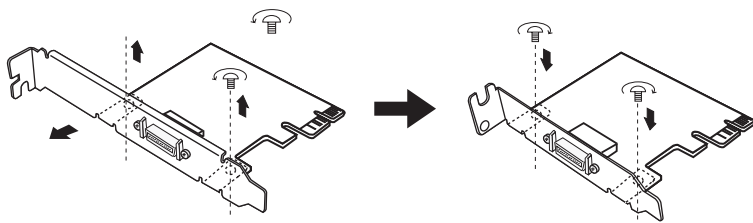
ExpressCardの使用(必ずお読みください)

⇒14ページ

準備完了

### 2-2. Low Profile PCIeで使用する場合

Low Profile(ロー・プロファイル) PCIeスロット搭載パソコンで使用する場合は、下図を参考にし、添付のブラケットに付け替えてください。

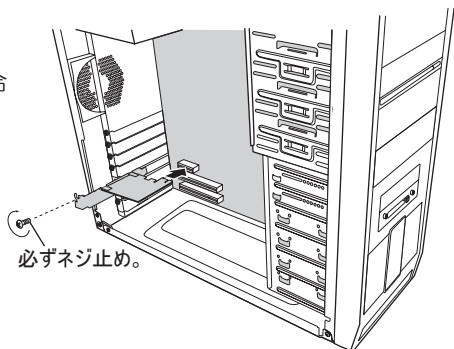




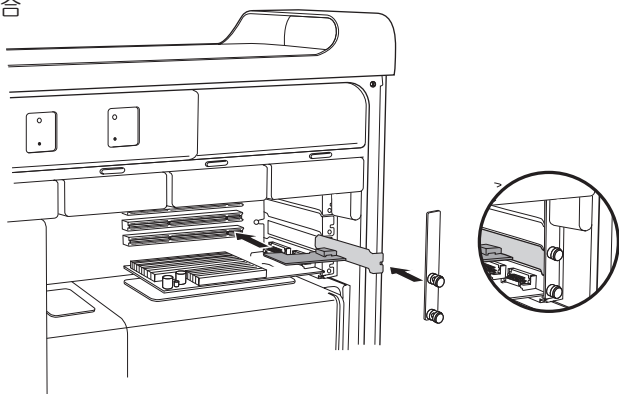
## 2 -3. ハードウェアの装着

1. パソコンの電源を切り、電源ケーブルを取り外してください。
2. PCIeスロットにPCIeボードを取り付けます。

### ●WindowsPCの場合



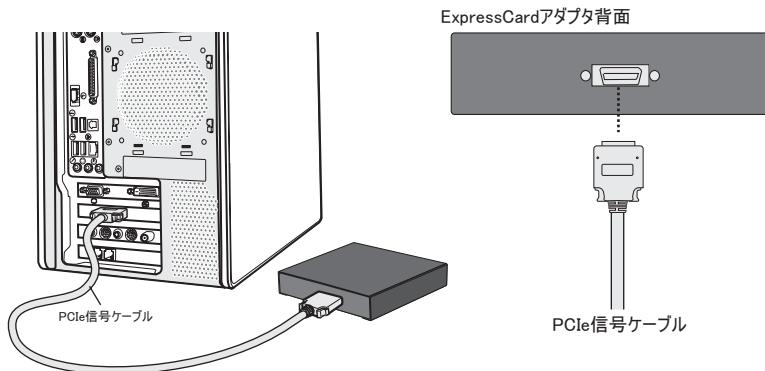
### ●Mac Proの場合



### ⚠ 注意

- 作業前に身体の静電気を除去してから取り付けを行ってください。
- スロットに対し、ボードが傾いた状態で装着し利用すると、本製品やパソコン本体が破損する恐れがあります。
- 金色の接触部がソケットに完全に見えなくなるまで挿入してください。
- 図示のように、ブラケットは必ずネジ止めをしてください。

### 3. PCIe信号ケーブルを接続します。

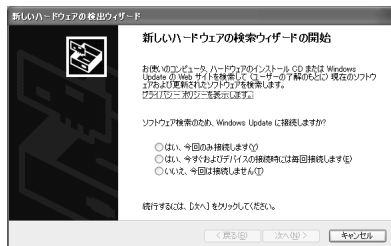


Windows 7/VistaではOS起動後に次の画面が表示されますが、ここでは何もする必要はありません。

次ページ「ドライバ・ユーティリティのセットアップ」へ進んでください。



Windows XPではOS起動後に次の画面が表示されますが、「キャンセル」で閉じてください。



## 2 -4. ドライバ・ユーティリティのセットアップ

### (Windowsでのインストール)

1. 製品添付CD-ROMをCDドライブへ挿入するとインストーラが自動的に起動します。

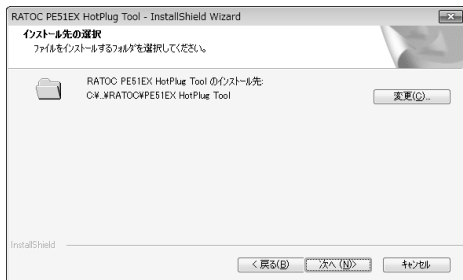
※ ユーザーアカウント制御のダイアログが出力される場合は「はい(Y)」ボタンをクリックします。



2. 「RATOC REX-PE51EX HotPlug Tool セットアップへようこそ」のダイアログで「次へ(N)>」ボタンをクリックします。



3. 「インストール先の選択」のダイアログでインストール先を指定し「次へ(N)>」ボタンをクリックします。



4. 「インストール環境の確認」のダイアログで、「インストール」ボタンをクリックします。



5. 「このデバイスソフトウェアをインストールしますか？」のダイアログで、発行元を確認し、「インストール(I)」ボタンをクリックします。



6. 「完了」ボタンをクリックします。  
以上でWindowsでのインストールは完了です。

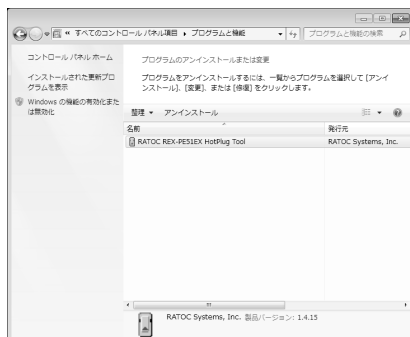


14ページ **3** 「ExpressCardの使用(必ずお読みください)」へ進んでください。

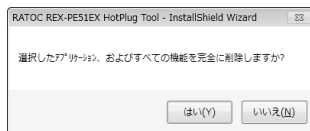
## (Windowsでのアンインストール)

※ アンインストールが必要な場合のみお読みください。

1. スタートメニューから「コントロールパネル」を選択し、「プログラムと機能」をクリックします。  
(WindowsXPでは「プログラムの追加と削除」を選択してください。)
2. 「RATOC REX-PE51EX HotPlug Tool」を選択し、「アンインストール」をクリックします。



3. アンインストール確認のダイアログで「はい(Y)」ボタンをクリックします。



4. 「完了」ボタンをクリックします。  
以上でアンインストールは完了です。



## (Macでのインストール)

1. 製品添付CD-ROMの次のファイルをダブルクリックします。  
MacOSX 10.4の場合: PE51\_Device\_Driver104x.dmg  
MacOSX 10.5/10.6の場合: PE51\_Device\_Driver.dmg  
(※ PE51\_Driver\_InstallerはMacOSX 10.5.6 以降に対応しています。)

※ 以下はMacOSX 10.6での手順となります。他のOSでも同様にインストールを行ってください。

2. インストーラが表示されますので、PE51\_Driver\_Installerを実行します。



3. 「続ける」ボタンをクリックします。



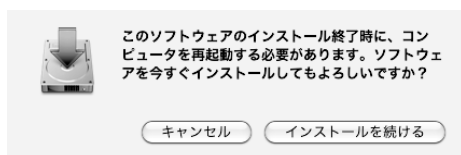
4. 「インストール」ボタンをクリックします。



5. パスワードを入力します。



6. 「インストールを続ける」ボタンをクリックします。



以上でインストール作業は完了です。

「再起動」ボタンをクリックするとOSが再起動します。



14ページ **3**「ExpressCardの使用(必ずお読みください)」へ進んでください。

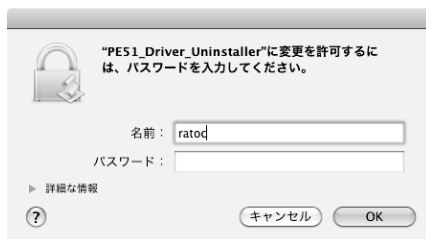
## (Macでのアンインストール)

※ アンインストールが必要な場合のみお読みください。

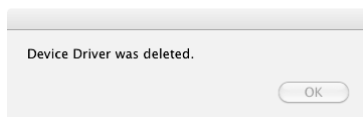
1. 製品添付CD-ROMの次のファイルをダブルクリックします。  
MacOSX 10.4の場合: PE51\_Device\_Driver104x.dmg  
MacOSX 10.5/10.6の場合: PE51\_Device\_Driver.dmg



2. アンインストーラが表示されますので、PE51\_Driver\_Uninstallerを実行します。  
パスワードを入力します。



3. 以上でアンインストールは完了です。



## 3 ExpressCardの使用（必ずお読みください）

### 3-1. ExpressCard製品のドライバインストール

ご利用されるExpressCard製品の導入手順にしたがってインストールをおこなってください。

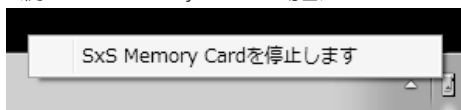


## 3 -2. ExpressCardの取り外し時の注意

(Windowsでの取り外し方法)

1. ExpressCardを取り外すには、先ず**2** でインストールしたユーティリティ(ホットプラグ取り外しツール)を使用します。  
タスクバーに登録されたアイコンをクリックし、表示された停止処理をクリックします。

(例: SxS Memory Cardの場合)



※ Windows7でのタスクアイコンが隠れていますので、次の手順にて表示させてください。

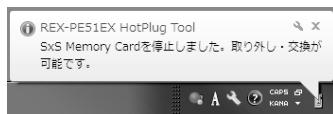
下図のように「カスタマイズ」をクリックします。



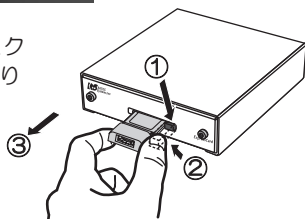
PE51HotPlugTool.exeの動作に「アイコンと通知を表示」を選択し、「OK」ボタンをクリックします。



2. タスクバーより取り外し可能のメッセージが表示されることを確認します。



3. イジェクトレバーを押し①、突出したイジェクトレバーを再度押し②、ExpressCardを取り外します③。



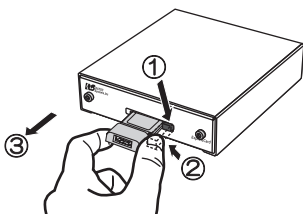
## (MacOSでの取り外し方法)

### [SxSCardの場合]

1. メディアのアンマウント操作をしてください。



2. イジェクトレバーを押し(①)、突出したイジェクトレバーを再度押し(②)、ExpressCardを取り外します(③)。

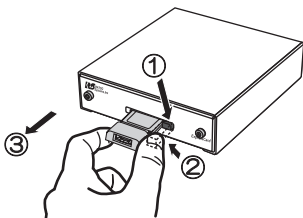


### [その他のExpressCardの場合]

1. ストレージデバイスの場合は、メディアのアンマウント操作をしてください。  
(ストレージデバイス以外の場合は2.から実行してください。)
2. ステータスバーのカードアイコンから「カードの電源を切にする」をクリックします。



3. イジェクトレバーを押し(①)、突出したイジェクトレバーを再度押し(②)、ExpressCardを取り外します(③)。



## よくある質問

**Q** ExpressCardを認識しません。

**A** 以下をご確認ください。

Windows デバイスマネージャにてExpressCardが登録されているかご確認ください。


## 1. デバイスマネージャを開きます。

＜開き方一例＞

- Windows 7/Vista: [スタート]→[コントロールパネル]から[デバイスマネージャ]を起動します。
- Windows XP: [スタート]→[コントロールパネル]→[パフォーマンスとメンテナンス]→[システム]を開きます。[ハードウェア]をクリックし、[デバイスマネージャ]ボタンをクリックします。

2. タスクバーの[表示]をクリックし「デバイス(接続別)」を選択し、表示を確認します。

※デバイス名や画面はパソコンにより異なります。

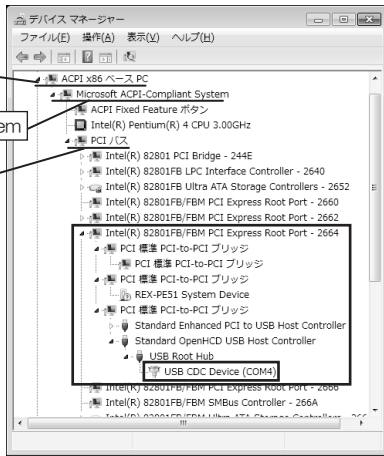
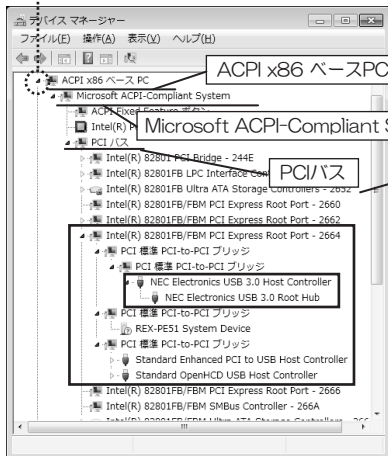
 ExpressCardには、PCIeベースとUSBベースの2種類が存在します。その種類によりデバイスマネージャ上での認識場所が異なります。

## <Windows 7での一例>

- PCIeベースのExpressCardの場合  
例はUSB3.0カード(弊社製REX-EXU3)

ここをクリックするとサブカテゴリが表示されます。

- USBベースのExpressCardの場合  
例はRS232Cカード(弊社製REX-EX60)

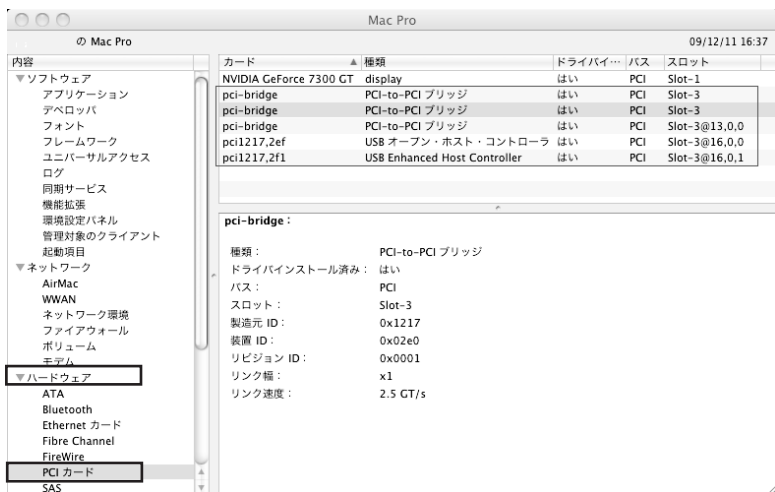


※ Windows7/Vistaでは上記「REX-PE51 System Device」に“?”マークが表示され、プロパティを開くとリソースが利用できないとの表記がございますが問題ございません。

**3. 表示されていない場合は、次項についてご確認ください。**

1. ExpressCardおよびPCIe信号ケーブルが正常に接続されていますか。
2. PCIeボードを別のPCIeスロットに変更した場合も同様ですか。

1. [アプリケーション]-[ユーティリティ]フォルダにある[システムプロファイル]を起動します。
2. [ハードウェア]-[PCIカード]をクリックします。  
(下記例ではSlot3にREX-PE51EXが接続されています。)



3. 表示されていない場合は、次項についてご確認ください。
  1. ExpressCardおよびPCIe信号ケーブルが正常に接続されていますか。
  2. PCIeボードを別のPCIeスロットに変更した場合も同様ですか。

# 5

## お問い合わせ・ユーザ登録

### 5

#### -1. 本製品に関するお問い合わせ

本製品に関するご質問がございましたら、下記弊社サポートセンターまでお問い合わせください。お問い合わせの際には、巻末の「質問用紙」に必要事項をご記入のうえ、下記FAX番号までお送りください。折り返し、電話またはFAX、メールにて回答いたします。なお、ご質問に対する回答は下記営業時間内とさせていただいておりますのでご了承ください。また、ご質問の内容によりましては弊社にてテスト/チェック等を行う関係上、回答までに時間を要する場合もございますので、予めご了承くださいますようお願い申し上げます。

#### ラトックシステム株式会社 サポートセンター

〒556-0012 大阪市浪速区敷津東1-6-14 朝日なんばビル  
TEL 大阪:06-6633-0190 東京:03-5207-6410  
FAX:06-6633-3553 (FAXは24時間受付)

営業時間 月曜～金曜 10:00～13:00、14:00～17:00  
土曜・日曜・祝日及び弊社指定の休日を除く

ホームページで最新の情報をお届けしております。  
またホームページ上からのご質問・お問い合わせも可能です。  
<http://www.ratocsystems.com/>

## 5-2. 修理について

万一故障した場合は、本製品に添付の保証書記載内容に基づいて修理いたします。  
故障と思われる症状が発生した場合は、まず本書を参照し、接続や設定が正しく行われているかどうかご確認ください。現象が改善されない場合は、弊社ホームページの下記アドレス「修理について」を参照し、弊社修理センター宛に製品をお送りください。  
また修理に関してご不明な点がございましたら、弊社サポートセンターまでご相談ください。

〈製品送付先〉     ラトックシステム株式会社 修理センター  
                         〒556-0012 大阪市浪速区敷津東1-6-14 朝日なんばビル  
                         TEL:06-6633-0190

〈送付頂くもの〉     ・本製品の保証書の原本  
                             ・製品  
                             ・質問用紙（本書巻末の「質問用紙」に現象を明記してください。）

〈送付方法〉             宅急便等、送付の控えが残る方法でお送りください。  
                             弊社への修理品の送料は、送り主様がご負担ください。返送の費用は、  
                             弊社が負担いたします。  
                             輸送中の事故に関しては、弊社はいかなる責任も負いかねますので、  
                             ご了承ください。

〈修理費用〉             保証書に記載の保証期間・条件のもと、有償となる場合があります。  
                             詳細は保証書をご覧ください。

### 修理についてのご案内

<http://www.ratocsystems.com/services/repair/contents.html>

型 番	REX-PE51EX	
名 称	PCIe接続ExpressCardアダプタ（外付けタイプ）	
対 応 O S	Windows 7/Vista/XP Mac OS X 10.4.x以降	
対 応 機 種	PCIeスロットを装備したWindows PCまたはMac Pro	
バスインターフェイス	ExpressCard Standard Release 1.0準拠 PCIe x1 (PCI Express Base Specification Revision 1.0a)	
カードスロット数	1スロット（ExpressCard/34のみ対応）	
対 応 ExpressCard	各種ExpressCard対応	
	通信カード	無線LANカード/データ通信カード/モバイル通信カード/LANカード
	メモリカード	SxS PRO、フラッシュメモリ、各種カードリーダー/ライター/アダプタ
	インターフェイス	RS232Cカード、eSATAカード（※ REX-EX30Sは未対応です。）
※その他、最新の動作確認情報は弊社Web（ <a href="http://www.ratocsystems.com/">http://www.ratocsystems.com/</a> ）参照		
動 作 電 源 電 圧	DC 3.3V（PCIeバスより供給）	
ExpressCard への出力電源	+3.3V：最大1300mA	
	+3.3Vaux：最大275mA	
	+1.5V：最大650mA	
動 作 環 境	温度：0～40℃、湿度：20～80%（但し結露しないこと）	
外 形 寸 法	ExpressCardアダプタ（外付用）	
	約120(L) × 103.6(W) × 27.4(H) mm（突起部を除く）	
	PCIeボード	
重 量	約65.3(L) × 69.8(W) × 1.6(T) mm（突起部を除く）	
	約720g（製品内容一式）	
製 品 内 容	外付け用ExpressCardアダプタ、PCIeボード、Low Profile用ブラケット、PCIe信号ケーブル（約100cm）、CD-ROM、インストールガイド、保証書	
保 障 期 間	1年間	

- 対応OSはご使用になるExpressCardの動作環境に準じます。
- PCIe信号ケーブルは本製品専用のため、本製品以外では使用できません。
- ExpressCardの接続インターフェイスはPCIeベースとUSB2.0ベースの2種類あります。本製品はどちらの接続インターフェイスにも対応しています。
- 製品改良のため、将来予告なく外観または仕様の一部を変更する場合があります。
- 本製品は日本国内仕様となっており、海外での保守及びサポートは行っておりません。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

ラトックシステム株式会社 サポートセンター宛

**FAX: 06-6633-3553**

お手数ですが、拡大コピーの上必要事項を記入して、FAXでお送りください。

氏名			
会社・学校	※法人登録の方のみ		
部署・所属	※法人登録の方のみ		
住所	〒		
TEL		FAX	
メールアドレス			
製品型番	REX-PE51EX	シリアル番号	
購入店名			
購入年月日			

パソコン機種	メーカー名		型番	
使用OS	<input type="checkbox"/> Windows 7 <input type="checkbox"/> Vista <input type="checkbox"/> XP ※該当の方はチェック⇒ <input type="checkbox"/> 64ビット版を使用している <input type="checkbox"/> Mac OS <input type="checkbox"/> Mac OS X (Ver.      )			
使用PCカード	メーカー名		型番	
質問内容				
添付資料	<input type="checkbox"/> Windows: デバイスマネージャのシステム概要※1 <input type="checkbox"/> Mac: システムプロファイラの簡易レポート※2 <input type="checkbox"/> その他(      )			

※1 デバイスマネージャのシステム概要の印刷方法

- (1) [スタート]メニューから[すべてのプログラム]ー[アクセサリ]ー[システムツール]ー[システム情報]を選択します。
- (2) Windows 7/Vista/XP: [ファイル]ー[エクスポート]を選択し、任意の名前のテキストファイルで保存します。
- (3) 保存したテキストファイルを開き、印刷します。

※2 システムプロファイラの簡易レポートの印刷方法

- (1) Finderのメニューバーから[移動]ー[ユーティリティ]ー[システムプロファイラ]を開きます。
- (2) [表示]ー[簡易レポート]を選択します。[ファイル]ー[プリント]を選択し、簡易レポートを印刷します。

提供いただいたお客様の個人情報は、サポート目的のみに使用し、他の目的には使用しません。  
 弊社の個人情報取り扱いに関する詳細は、弊社ホームページをご覧ください。  
<http://www.ratocsystems.com/info/privacy.html>



